

ボルダーW杯参戦中の関川選手(光星高1)

「決勝に進みたい」



今季、スポーツクライミングワールドカップ(W杯)ボルダー競技に初参戦している八戸学院光星高1年の関川愛音選手(15)が26日、八戸市庁を訪

ね、熊谷雄一市長にW杯出場を報告した。関川選手は「(残り3戦で)準決勝を通過して決勝に進みたい」と抱負を語った。(桑田友人)

熊谷市長に抱負

関川選手は市立湊小、湊中を経て今春に同高へ進学。2月の国内大会で好成績を残し、ボルダーのW杯出場選手に選ばれた。

4月から始まったW杯シリーズの成績は東京都八王子市で16位、ソウル(韓国)で12位、5月のソルトレークシティ(米国)で20位。悪天候で決勝がなかったソウルを含め、準決勝進出が最高成

績となっている。

市庁での懇談で、熊谷市長からメンタルについて問われた関川選手は「(課題を)できるか、できないかで気持ちの浮き沈みが出てしまう。いろいろな経験をしながら(解決策を)探していきたい」と強調。

八戸市内にハイレベルな練習をできる施設がなく、盛岡市に週2回通う現状を踏まえ、地元での環境整備を求める場面もあった。

懇談後の取材で関川選手は「(W杯は)あつという間に3戦が終わり、悔しい気持ちもあるが学べたことも多い。残り3戦に生かしたい」と前向きに語った。

ボルダーの残る3戦は、6月2日からチェコ、同9日からイタリア、同14日からオーストラリアで開催される予定。

熊谷雄一市長にクライミングワールドカップ出場を報告した関川愛音選手(右) 26日、八戸市庁